

報告事項	2 (3) 公共施設の老朽化対策等について
-------------	------------------------------

取組課題

高度経済成長期を中心に整備を進めてきた道路や下水道、小・中学校などの多くの公共施設が一斉に改修・更新時期を迎える。

これらの改修・更新には多額の費用を要するが、少子高齢化などの進展により、社会保障費が増加する一方で、税金などの歳入の伸びが期待できない中では、これまでと同様に財源を確保し、公共施設へ投資・支出していくことは困難になることが想定される。

そこで、公共施設の老朽化対策等について四州市で情報を共有し、課題の解決に向けて検討する場を設け、意見交換を行うなど、連携して取組を進める。

実施状況

1 取組成果

(1) 県・横浜・川崎・相模原四州市公共施設老朽化対策等検討会の設置

課題解決に向けた四州市の検討の場として、「県・横浜・川崎・相模原四州市公共施設老朽化対策等検討会」（以下「検討会」という。）を設置し、施設の維持管理や改修・更新への対応、施設の再編等に対する住民理解の促進、施設情報の一元管理など、各州市の取組状況について意見交換や課題の解決に向けた検討を行った。

また、四州市の道路部局で構成する「県政令市道路事業連絡調整会議」における、道路の維持管理方策などに係る取組状況の内容についても確認をした。

(2) 開催状況

回	開催年月日	内容
第1回	3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の設置等について ・取組内容とスケジュールについて
第2回	5月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・四州市公共施設老朽化対策等検討会の取組について ・公共施設の老朽化対策等に対する各州市の取組状況について ・公共施設等総合管理計画の策定要請に対する対応について
第3回	8月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の老朽化対策等に対する各州市の取組状況について ・公共施設等総合管理計画について

2 今後の課題

(1) 公共施設の計画的な修繕・改修等に係る財源の確保

課題である財源の確保への対応については、計画的で効率的な修繕・改修等に加え、新しい技術の情報共有など財政負担の軽減・平準化に資する様々な取組を進めていく必要がある。

(2) 公共施設等総合管理計画の策定要請に対する対応について

国から策定要請のあった「公共施設等総合管理計画」については、ハコモノや土木インフラを含む全ての公共施設等を対象に、老朽化の状況等を把握し、更新・統廃合・長寿命化などの考え方を示すものであり、今後、どのように策定するかなど、引き続き、四州市で連携しながら取り組む。